

《現状の課題》

- 誰もがスポーツを楽しめる環境を整え、心身両面からの健康づくりを進めることが、これまで以上に重要になっている。
- 子どものうちから望ましい運動習慣を身に付けることが大切であり、体を動かすことの楽しさを伝え、**運動・スポーツへの関心を高めるとともに、体を動かす機会の充実**が必要。
- スポーツ離れが指摘される**若年層や壮年層が気軽にスポーツに親しめるような参加機会の拡充**や、**高齢者が無理なく取り組むことができるスポーツ・レクリエーションの普及・啓発**が必要。
- 地域出身のアスリートの活躍は、市民に夢や希望を与えるだけでなく、スポーツへの関心を高め、参加意欲を促すことに繋がることから、**関係団体との連携のもとに、指導者の育成・確保や、競技力向上のための環境を整備**して行くことが必要。
- 地域スポーツの活性化を促すためにも、スポーツを支えるボランティアの育成など、**地域に活力をもたらすスポーツ環境づくり**が必要。

1. 甲府市スポーツ推進計画（平成26年3月策定）

《基本理念》

だれもが いつでも 身近に スポーツに親しむまち

<基本目標>

- ①子どもの運動機会の充実
- ②ライフステージに応じたスポーツ環境の推進、環境の整備
- ③競技力の向上
- ④地域に活力をもたらすスポーツ環境づくり

2. 甲府市スポーツ推進計画に基づく取組み

■子どもの運動機会の充実

○ヴァンフォーレ甲府 ランクニックの開催

地域に根ざしたサッカークラブ（ヴァンフォーレ甲府）に所属するフィジカルコーチが、「速く走るための5つのポイント」や「走ることの楽しさ」などを直接教え、子どもに運動習慣を身に付けることの大切さを伝えている。

○山梨クイーンビーズ バasketボール教室の開催

実業団バスケットボールチーム（山梨クイーンビーズ）の選手を招き、小学生が華麗な技術を目の当たりにするとともに、その指導を受けることで、スポーツの楽しさを味わう。

○子どもの体力運動能力の実証について

総務省の平成28年度補正予算である「IoTサービス創出支援事業」の採択を受け、本市をはじめ、山梨大学・ミズノ(株)・(株)ポーネランド・(株)エーティーエルシステムズの産学官連携により、「子どもの体力・運動能力の測定・分析・提供モデル」を全国で初めて実証する。



<ランクニック>



<プレイリーダーと子どもたち>

■ライフステージに応じたスポーツ機会の推進、環境の整備

○市内全地区（市内30地区）における地区運動会の開催

地区体育協会と連携し、子どもから高齢者までの多世代がスポーツにふれあう機会を提供するとともに、地域コミュニティの活性化を目指す。参加人数：27,157人（H28）

○ライフスポーツ市民大会の開催

誰もが気軽に参加し、楽しめるスポーツの普及と推進を図り、市民の健康増進と地域スポーツの振興を目指す。参加人数：1,307人（H28）



<地区運動会>



<ライフスポーツ大会>

■ 競技力の向上

○市民体育大会の開催

昭和25年から毎年開催されており、市民レベルからの競技力の向上を目指す。
参加人数：7,281人（H28）

○スポーツ少年団部会大会の開催

子どもの運動機会の提供や体力と運動能力向上を図るとともに、優れた資質を持つ選手の発掘を目指す。
（市内98団体 約2,000名が活動）

3. その他の取組み

■ スポーツを活用したシティプロモーションの推進

○甲府スポーツビューロの設置

本市にゆかりのあるアスリートに協力していただきながら、市内在住の日本人初のツール・ド・フランス出場者をMCに迎えたFMラジオ番組の放送や、本市出身のオリンピック出場選手による森と水の大切さを学ぶ「水ケーション事業」を実施し、地域の活性化を目指している。



＜甲府スポーツビューロ FM放送＞



＜水の授業（水泳教室）＞

＜市民体育大会＞

＜スポーツ少年団部会大会＞

■ 地域に活力をもたらすスポーツ環境づくり

○地域のプロスポーツチームとの連携

ヴァンフォーレ甲府（サッカー）や山梨ウィーンピーズ（バスケットボール）への支援や連携を進め、子どもや青少年の健全育成や地域スポーツの振興を目指す。

○武田の杜トレイルランニングレースの開催

甲府の地域特性を活かすスポーツツーリズムの開催により、地域活力の維持向上を目指す。毎年年末に実施し、本年は第9回目の開催となる。
参加人数：491人（H28）

○甲府大使制度の創設

本市にゆかりがあり、各分野で活躍する方々を通じて本市の魅力を発進するとともに、委嘱した大使の活躍を市HP等で周知するなど、相互応援を行っている。
《甲府大使4名（スポーツ分野）》



佐藤優香選手
本市在住
チームケンズ所属
（トライアスロン）



江原騎士選手
本市出身
自衛隊所属
（競泳）



堀米勇輝選手
本市出身
V F 甲府所属
（サッカー）



高橋周平選手
市内高校卒業
中日ドラゴンズ所属
（野球）

4. 今後の取組み

■ スポーツを活用した地域活性化戦略の展開

スポーツを活用した地域活性化戦略を総合的に展開するため、基本指針を策定する。

■ スポーツ施設の機能再編・再配置

スポーツ施設を市民の日常的な健康づくりやスポーツ活動など生涯スポーツの振興を支える場として計画的に整備改修する。



＜ヴァンフォーレ甲府ホームゲーム＞



＜武田の杜トレイルランニングレース＞